

国体は、新横手を全国に アピールする最高のチャンス

佐藤 忠久 議員

秋田わか杉国体について

質問 平成19年開催の秋田わか杉国体で横手市ではボウリング、ホッケー、軟式野球、バレーボールの競技が行われる。国体の開催は新横手市を全国にアピールする最高の機会と考えられるので、着々と準備を進め盛り上げを図ってほしい。今後どのように運動を展開してゆくののか。

答弁 市の実行委員会は4月から本格的にスタートし、これから実働部隊の実施本部を設置する。本年度予定のリハーサル大会では本番に近い形で実施し、細かい部分の検証をしたい。広報面では看板の設置や大会マスケット「スギツチ」を使って市民へのPRに努めていきたい。市民



総参加の面から2000人規模のボランティアも募集し本番に備える。また学校や各関連団体と連携し、物品の提供や人的な面で協力をお願いしたいと思っている。

区長の権限について

質問 合併による地域住民の不安解消の意味あいから区長を置き権限を持たせたいと思うが、現在の状況は合併協の意味が尊重されるものとなっているか。

答弁 そのように認識している。したがって区長の権限も決済権限において部長級より上位にランクさせている。しかしこれらの権限に基づく事務の執行も大事だが、区長により求められるものは地域住民の不安解消であり、その為にはより積極的に地域に足を運び地域固有の文化や特性を活かした地域づくりによりその力を発揮していただきたいと考えている。

その他の質問事項
・教育について

上内町地区の用途指定を見直せ

奥山 豊 議員

東西自由通路について

質問 駅前周辺再開発事業も、このあと駅東西を結ぶ東西自由通路事業によって、駅西区画事業と連動させて市街地の活性化を目指す方針を示されているが、設置される公共施設の構想と、自由通路事業の内容、進行状況について伺いたい。

答弁 市の施設としては図書館、情報センター、福祉施設等幅広く検討しているが、「準備組合」が進める商業施設や住宅などと一体性を持つ構想を検討し、本年度中に概要を決めたい。自由通路については通路を通って改札するのが望ましいと考え、駅東西のバランスと市民への利便性を第一に考え、橋上改札口を設



け、位置は現在の駅舎とほぼ同じ位置にしたい。今年度、基本設計を委託する予定である。

上内町の建ぺい率について

質問 上内町5番地の建ぺい率について、今、高齢化率が70%に達し在宅介護をするための増築や車庫の新築ができない。同じ町内の第1種住居地域に変更してほしいという切実な訴えに対し、どう対処されるのか。

答弁 上内町地域全体が用途地域であるが、幹線道路に接しているかどうかで基準が異なるので、同じ町内でも同じ指定が受けられない規定となった。過去町づくり申し合わせ事項を作り特有の歴史ある情緒豊かな町並み保存を申し合わせ、県及び市のマスタープランに示してきた。しかし県からはこの地域のみ変更することは困難であるという回答をいただいているが、今年度から都市マスタープランを作成する中で地域全体を見直しますので、基準変更が可能かどうか検討していきたい。

その他の質問事項
・三役人事について
・人事交流について